

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 723 道徳 823 道徳 923	中学道徳 1 とびだそう未来へ 中学道徳 2 とびだそう未来へ 中学道徳 3 とびだそう未来へ
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び目標、内容等〕	<p>○ 生命の尊厳について 第1学年では、人間として強く生きていくために必要なことはどのようなことか、生きるために大切なことはどのようなことかを考える活動等、第2学年では、精一杯生きるとはどのように生きることか、命を大切にするととはどのようなことかを考える活動等、第3学年では、命を大切にするととはどのようなことか、生きていくということはどのようなことかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 自然について 第1学年では、身近な自然を守るためにできることはどのようなことかを考える活動等、第2学年では、自分にできる環境保護にはどのようなことがあるかを考える活動等、第3学年では、地球とともに生きるためにどのようなことができるかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 伝統と文化について 第1学年では、郷土の文化を守っていくことはなぜ大切なのかを考える活動等、第2学年では、郷土の伝統を守るために自分にはどのようなことができるかを考える活動等、第3学年では、自分がこれから大切にしたい、守っていききたい郷土のよさは何かを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 情報化への対応について 第1学年では、インターネットを扱い、ルールやマナーが必要なのはどうしてかを話し合う活動等、第2学年では、SNSを扱い、よりよく使っていくことでどのようなことが得られるかを話し合う活動等、第3学年では、スマートフォンや携帯電話を扱い、「歩きながらスマートフォンを見たり操作したりすること」を規制することは必要かを話し合う活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列 言語活動については、教材の末尾に自分の考えを基に話し合う「学びの道しるべ」を配置し、問題解決的な学習については、異なる立場からの考えを取り上げた教材を配置し、体験的な学習については、役割演技による学習を示した「やってみよう」を配置するなど、生徒が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量※ 第1学年～Aは8教材、Bは8教材、Cは13教材、Dは7教材、Eは4教材、全体で40教材であり、総ページ数は194ページとなっている。 第2学年～Aは7教材、Bは7教材、Cは17教材、Dは5教材、Eは3教材、全体で39教材であり、総ページ数は178ページとなっている。 第3学年～Aは5教材、Bは5教材、Cは17教材、Dは9教材、Eは3教材、全体で39教材であり、総ページ数は178ページとなっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 各学年に、「道徳の学びを記録しよう」や、課題や目標を記入する「どんな〇年生になりたいか」、「そして、未来へ……」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒が自らを振り返るための工夫がなされている。</p> <p>○ 各学年に、道徳の学習と家庭をつなぐ「家の人から」を配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。</p> <p>○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ 北海道と関連のある教材は、「釧路湿原を守れ」など10箇所取り上げられている。</p> <p>○ いじめ問題については、差別や偏見のない社会を築いていくためにはどのようなことが大切かを考える活動等を取り上げている。</p>			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。